



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第193号 (平成 30 年 6 月 26 日)



(目 次)

- 1 <林野庁プレスリリースから>
「平成 30 年度学校の森・子どもサミット」の参加者募集について
- 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(134)
- 3 <森林・林業白書から> 保護林がユネスコエコパークに登録
- 4 <樹をとりまくはなし>(14) 都会でセミの抜け殻をつけて帰る
- 5 <イベント情報>
◆“森と自然を活用した保育・幼児教育”自治体勉強会 in 中部
☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》
《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》
一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



-
- 1 <林野庁プレスリリースから>
「平成 30 年度学校の森・子どもサミット」の参加者募集について
-

学校の森・子どもサミット実行委員会は、平成 30 年 7 月 30 日(月曜日)～31 日(火曜日)に福井県において、「平成 30 年度学校の森・子どもサミット」を開催します。

このうち、平成 30 年 7 月 30 日(月曜日)に福井県福井市で行われる「子どもたちの体験学習発表会」と「森林環境教育に関する分科会」の参加者を募集します。

1 概要

学校の森・子どもサミット実行委員会は、全国から集まった児童たちによる身近な自然や森林資源・教材等を活用した体験学習の発表と、先生や有識者による意見交換などを通じて学校における森林環境教育の輪を全国へ広げていくことを目的に「学校の森・子どもサミット」を開催しています。

「平成 30 年度学校の森・子どもサミット」は、平成 30 年 7 月 30 日(月曜日)～31 日(火曜日)に福井県で開催されます。

このうち、平成 30 年 7 月 30 日(月曜日)に福井県福井市で行われる「子どもたちの体験学習発表会」と「森林環境教育に関する分科会」の参加者を募集します。

2 開催日時及び場所

日時:平成 30 年 7 月 30 日(月曜日) 13 時 00 分～16 時 40 分(12 時 30 分～受付開始)

会場:福井県民ホール

所在地:福井県福井市手寄 1-4-1 アオッサ 8 階

3 主な内容(予定)

○小学生による活動事例発表(13時20分～15時30分)

全国から集まった小学生が、身近な自然や森林資源・教材等を活用した体験学習について発表します。

<活動事例発表を行う小学校>

北海道幌加内町立朱鞠内(しゅまりない)小学校
北海道標茶町立中茶安別(なかちゃんべつ)小学校
東京都世田谷区立明正(めいせい)小学校
東京都多摩市立連光寺(れんこうじ)小学校
福井県福井市本郷(ほんごう)小学校
福井県若狭町立気山(きやま)小学校
福井県福井市下宇坂(しもうさか)小学校
岡山県真庭市立中和(ちゅうか)小学校
岡山県倉吉市立北谷(きただに)小学校
鹿児島県南九州市立霜出(しもいで)小学校
鹿児島県屋久島町立小瀬田(こせだ)小学校
合計 11 校

○森林環境教育を考える分科会(15時40分～16時40分)

分科会 1

「生き物や地域が発する問いに応えるまちづくり学習」

講師:飯島博(NPO 法人アサザ基金代表)

分科会 2

「森のようちえん幼児期の子どもの可能性」

講師:内田幸一(森のようちえん全国ネットワーク理事長)

分科会 1 か 2 のいずれかに参加できます。

4 募集予定人数

森林環境教育に関心のある方 500 名

5 申込要領

(1) 申込方法

FAX 又は電子メールにて、以下の申込先に必要事項を記入の上、お申し込みください。

<必要事項>

ア 氏名(フリガナ)

イ 電話番号

ウ 電子メールアドレス

エ 所属(学校・企業・団体等)

オ 参加される分科会(分科会 1 か 2 のいずれか)

(注)複数お申込みの場合も、お一人ずつの必要事項を記入してください。

<お申込先>

宛先:学校の森・子どもサミット実行委員会事務局(共存の森ネットワーク内)

FAX 番号:03-6432-6590

電子メールアドレス:mail@gakkou-no-mori.org

(2)申込締切

先着順に募集予定人数(500名)になり次第、締め切ります。

また、お申込みいただいた方には、参加の可否を FAX 又は電子メールで御連絡いたします。

なお、募集予定人数に達した場合は、下記のお問合せ先 URL でお知らせいたします。

(3)お問合せ先

学校の森・子どもサミット実行委員会事務局(共存の森ネットワーク内)

所在地:東京都世田谷区松原 1-11-26 コスモリヴェール松原 301 号室

電話:03-6432-6580

担当者:鈴木

<http://www.gakkou-no-mori.org/>

なお、参加申込みによって得られた個人情報は厳重に管理し、確認等御本人への連絡を行う場合に限り利用させていただきます。

2 <コラム> 森林環境教育の現場から(134)

北海道名寄市の郊外にある小学校で放課後の観察会をしました。学校の裏山である神社山は約1ヶ月入っていません。3週間前にヒメギフチョウの卵を発見し、子どもたちに見せようとしたら大型のヒグマの足跡発見!!神社山に入ることができなくなりました。そして今回、子どもたちがオクエゾサイシンの葉を裏返すと・・・いました!終齢の幼虫が1匹!卵は10個うみつけていたので生存率10%、自然は厳しいです。学校でも同時期に採取した卵からヒメギフチョウの成長観察をしています。こちらは手厚く育てているので生存率45%!?この子たちは生き物が自然の中で生きて行く厳しさ、その繊細な育ち方から大切なものを感じ、知識として身につけていくのかな?と日々の活動を通じて感じています。

(森林インストラクター 柳原 高文)

3 <森林・林業白書から> 保護林がユネスコエコパークに登録

国有林ではこれまでに、大分県と宮崎県の県境地域に「祖母山・傾山・大崩山周辺森林生態系保護地域」を、群馬県と新潟県の県境地域に「利根川源流部・燧ヶ岳周辺森林生態系保護地域」や「緑の回廊三国線」等を設定し、これらの地域において生物多様性保全を始めとした森林の多面的機能を高めるための保護・管理を実施してきた。

こうした中、平成 29(2017)年6月に、これらの保護林等を含む地域が「祖母・傾・大崩」(大分県及び宮崎県) 及び「みなかみ」(群馬県及び新潟県)としてユネスコエコパークに登録されることが決定された。

今後も、国有林野事業を通じた様々な取組が、生態系の保全と持続可能な利活用の調和(自然と人間社会の共生)の一助となることが期待されている。

(平成29年度森林・林業白書 事例から)

4 <樹をとりまくはなし>(14) 都会でセミの抜け殻をつけて帰る

都内の某ホテルにて樹木調査。「お客様にあまり姿を見せないでやって欲しい」と言われ、数人で結構な広さの樹木を測りました。そのホテルは急な斜面とブッシュで、歩くだけで大変です。がっちり山装備で、毎朝通勤していると、見知らぬおじさんに「どちらの山へ行かれるのですか？」と聞かれます。みんな虎の門にこんな厳しい“山”があるなんて思ってもいないでしょう。一緒に調査をしていた女子が「昨日の帰り、電車から降りたとき、耳元でがさがさするのでさわってみたら、セミの抜け殻が髪についていた！セミをつけたまま電車に乗っていた！」と嘆いていました。私もよく背中に葉っぱがついていたり、カバンにシャクトリムシがいたりします。都会だと、泥とか虫とか浮いてしまうので、虫とりピンにそっと入れるようにしています。変な仕事ですよ。

(森林インストラクター・樹木医 岩谷 美苗)

5 <イベント情報>

◆“森と自然を活用した保育・幼児教育”自治体勉強会 in 中部

◆“森と自然を活用した保育・幼児教育”自治体勉強会 in 中部

近年、欧米では外遊びを幼児期において外遊びを義務化する動きの広がりなども芽生えており、子どもの主体性や自己肯定感等の「非認知的スキル」自然体験活動等を通じて早期から醸成することの必要性が指摘されています。

こうした中、“森と自然を活用した保育・幼児教育”の推進に向けて、認証・認定制度の創設、人材育成、フィールド整備等を通して、保育・幼児教育の質の向上を図ったり、森林環境教育・森林 ESD の促進を図ったり、地方創生・移住促進に取り組む自治体が増えてきています。

そして、2018年4月には、「森と自然を活用した保育・幼児教育推進自治体ネットワーク」の設立宣言がなされ、10月には設立総会の開催が予定されています。そこで、これまで先進的な自治体等の支援施策等を紹介する勉強会を東京・大阪で開催してきましたが、好評を博したことから、この度、中部圏でも勉強会を開催することと致しました。

ご関心がありそうな自治体関係者、議員、実践者等の方々にご紹介頂けると幸いです。

よろしくお願い致します。

【日時】2018年7月13日(金)13:00～17:30

【場所】「岐阜県立森林文化アカデミー」森の情報センター

【URL】<http://mori-zukuri.jp/shizen-hoiku0713>

近年、“森と自然を活用した保育・幼児教育”の推進が、保育・幼児教育の質の向上につながると考え、認証・認定制度を創設したり、人材育成や指導者派遣等の支援施策を創設したりする自治体が増えています。

また、幼児期に裾野を拡大して森林環境教育・森林ESDを推進する自治体や、子育て世代の高いニーズに着目して、“森のようちえん”等に対する支援施策を充実することで、地方創生・移住促進を図っている自治体も増えてきています。

そこで、2018年4月に新たな「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」等が導入され、「森と自然を活用した保育・幼児教育推進自治体ネットワーク」の設立宣言がなされたタイミングに、その動きをさらに広げ、各自治体の施策の充実と質の向上を図るために、先進的な取組を幅広く情報共有し、学びあいを進め、ネットワークづくりを進めるための勉強会を開催します。

是非とも多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

○募集概要

【主催】(公社)国土緑化推進機構

【共催】林野庁中部森林管理局、岐阜県、鳥取県、長野県、広島県、三重県

【日時】2018年7月13日(金)13:00～17:30(受付12:30～)

【会場】「岐阜県立森林文化アカデミー」森の情報センター

【交通】長良川鉄道「梅山」駅より、徒歩10分

名古屋駅より美濃行バス乗車、「美濃小倉公園前」下車、徒歩15分

<https://www.forest.ac.jp/about/access/>

【参加費】無料

【定員】80名(定員になり次第、締め切りますので、お早めにお申込下さい)

【内容】

(1)概要報告1

森と自然を活用した保育・幼児教育”の意義と可能性

～保育所保育指針改定・幼稚園教育要領改訂等を踏まえて～

木戸 啓絵(岐阜聖徳学園大学 専任講師、日本自然保育学会 理事)

(2)概要報告2

